

## 新聞記事は「逆三角形」

新聞記事の文体は「逆三角形」と呼ばれます。逆三角形は上が大きく、下に向かって次第に小さくなりま

す。つまり、文章でいえば大切なことから書き始め、説明や補足を後から付け加えていくというスタイルです。

小説など一般的な文章は最後に結論を書くことが多いのですが、新聞はずばり、結論から伝えます。読者にニュースのポイントを少しでも早くつかんでもらうための工夫です。朝の忙しい時間に文章を途中までしか読めなくても、ニュース



の大まかな内容は理解できます。

記事が紙面に入り切らなくなった場合、割り付け（レイアウト）を担当する整理記者が記事を後ろから削ることができるのも逆三角形のメリットです。

逆三角形のスタイルで記事を読みやすくまとめるためには、取材で得た情報を頭の中で素早く整理しなければなりません。福島民報社の記者たちも日々、頭を悩ませています。